

## GAIA Helix Strategy

## マンスリーター

2023年  
5月

## 【投資哲学およびスタイル】

シュローダー・グループが運用する株式アクティブ運用戦略を主な投資ユニバースに設定し、その中から特にパフォーマンスの優れた戦略を厳選。市場リスク（ベータリスク）をヘッジしつつ超過収益（アルファ）の源泉を最適化したマーケット・ニュートラル型株式ロング・ショート戦略

## 【戦略概要】

戦略名	GAIA Helix Strategy
投資スタイル	マーケット・ニュートラル型株式ロング・ショート戦略
参照指数	MSCI AC World（税引後配当再投資）、 HFRX EH: Equity Market Neutral Index
保有戦略数	10-30程度
運用開始日	2018年11月30日
運用報酬	1.00% + パフォーマンス・フィー

## 【ポートフォリオ・レビュー】

3月、MSCI AC World(ネット・トータル・リターン)インデックスのリターンは+3.1%、HFRX EH:株式マーケットニュートラル・インデックスのリターンは0.0%となるなか、GAIA Helixのリターンは+0.3%となりました。

当月、GAIA Helixを構成する戦略の65%がプラスに寄与しました。グローバル、アジア地域の戦略が堅調となり、日本マイクロ戦略などのグロス/クオリティ寄りの戦略がプラスに寄与しました。一方で、英国、エマージング地域の戦略が軟調となり、英国小型株戦略やグローバル・バリュー戦略などのバリュー寄りの戦略はマイナス要因となりました。グロス・エクスポージャーは、378%(2月末時点)から352%(3月末時点)に低下しました。ネット・エクスポージャーは +3.1%となりました。

当月、ファンドでは、堅調なパフォーマンスが続いたディスラプション戦略の組入比率を引き下げ、アジア地域のリスク分散を企図して、アジア・インカム戦略の組入比率を引き上げました。また、オーストラリア・ロング・ショート戦略を売却しました。

## 【運用実績 (2023年3月末基準、米ドルベース、運用報酬等控除後)】

	1ヵ月	2023年	設定来
Schroder GAIA Helix E Acc	+0.3%	+4.8%	+18.1%
MSCI AC World (税引後配当再投資)	+3.1%	+7.3%	+42.1%
HFRX EH: 株式マーケット・ニュートラル・インデックス	-0.0%	-0.3%	-5.4%

出所：シュローダー。2023年3月末時点。GAIA Helix運用開始日:2018年11月30日

## 【見通し】

銀行セクターを巡る金融不安を受け、高金利環境下における特定のセクターや企業の脆弱性が露呈されました。クレジット状況は引き締まっており、銀行の融資能力の低下や高金利が中小企業に与える影響が懸念されます。これらを背景に、金利には景気後退の織り込みが進んだ一方、株式には一時的なネガティブなニュースにとどまり、景気後退は織り込まれていない状況です。このような状況で、ポートフォリオでは慎重な姿勢を継続しており、リスクを引き下げたほか、ディフェンシブ性を高めています。

エマージング市場の見通しはより明るいと考えており、中国株式に上昇余地があり、先進国をアウトパフォームする可能性がありますと考えています。また、経済指標の減速が継続した場合、米ドル安が進むと考えています。

また、高金利を背景に各銘柄のファンダメンタルズに、より大きな差異が生じると考えており、企業決算期には、各セクター間およびセクター内で、これらの差異がより顕著に表れてくると考えます。

本資料は、情報提供を目的として、信託財産の運用者であるシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドが提供する資料および情報を元にシュローダー・インベストメント・マネージメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が和訳あるいは編集し、ご提供するものです。弊社あるいはシュローダー・グループが提供できる運用戦略のご紹介、あるいは当該戦略の運用状況のご説明を目的としており、いかなる有価証券の売買の申し込み、その他勧誘を目的とするものではありません。弊社はお客様との投資一任契約の締結という形態にて機関投資家のお客様に運用戦略をご提供させていただきます。本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。本資料は、作成時点において弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますが、弊社はその内容の正確性あるいは完全性について、これを保証するものではありません。本資料に記載された特定のファンドに関する情報は、本資料でご紹介する運用戦略等を説明するための参考情報として記載したものであり、当該ファンドの募集その他勧誘を目的としたものではありません。本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。シュローダー/Schroders とは、シュローダー plcおよびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。

#### 投資一任契約に基づいた運用を前提とするお客様へ

本資料に記載されている特定のファンドに関する情報は、本資料でご紹介する運用戦略等を実現する際に投資一任契約口座にて投資対象となりうる有価証券を例示することを目的としたものであって、弊社が当該ファンドの募集その他勧誘を目的としたものではありません。ご契約に際しては、必ず契約締結前書面をご熟読ください。

**【費用等について】**弊社が投資運用業としてお客様に資産運用サービスをご提供する際には、一任口座にかかる運用報酬の他、組み入れ資産の運用報酬、売買手数料、保管費用等をお客様にご負担いただきます。運用報酬及びその他の手数料、費用等は、契約の種類、契約資産残高、運用手法、及び運用状況等により異なるため、あらかじめその料率やその上限額等を表示することはできません。

**【リスクについて】**受託資産の運用には、組み入れ有価証券等の価格変動リスク（ファンド等かかる有価証券等がさらに組み入れている対象物の価格変動リスクも含みます）、金利や金融市場の相場の変動リスク、十分な流動性の下で取引が行えない市場流動性リスク、及び株式やその他の有価証券の発行体の信用リスク等の影響を受けます。また、外貨建ての資産は、為替変動リスクの影響も受けます。また、デリバティブ取引を利用する場合、取引開始時に差し入れた証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。また証拠金の額や算出方法は取引の内容等により異なるため、取引の額の当該証拠金の額に対する比率は表示することができません。従って、これらの影響により組み入れ資産の価格が変動して損失を生じ、投資元本を毀損する可能性があります。受託資産の運用によって生じた損益はすべてお客様に帰属します。